

なるほどのう



学校教育担当
キャラクター
甲斐善之助

西部教育局からのお役立ち情報

今月のトピック紹介版

11月号

全国学力・学習状況調査結果公表 ～具体的なアクションで学力向上を図る！（2）～

今回の全国学力・学習状況調査結果から、基礎的・基本的な問題についても課題があることが分かりました。子供たちが基礎的な力を身に付けるためには、各学年の学習内容の系統性を踏まえ、学校全体で指導と評価の改善を図っていく必要があります。本号では、西部地区の課題をお知らせするとともに、各学年の系統を整理し、課題解決を図る取組について紹介していますので、自校の取組にお役立てください。

「特別の教科 道徳」(道徳科)の充実を図る！！ ～学習評価の推進に向けて明日からできること～

平成28年7月に行われた道徳教育に係る評価等の在り方に関する専門家会議では、指導の在り方に加え、学習評価の基本的な考え方が示されました。道徳科においては、その特質を踏まえ、子供の成長を積極的に受け止め、認め、励ます個人内評価を大切にします。本号では、道徳科において求められる評価の方法やその手立ての工夫についてまとめていますので、「特別の教科 道徳」の学習指導要領全面実施（小学校：平成30年度、中学校：平成31年度）に向けての準備にご活用ください。

「特別の教科 道徳」(道徳科)の充実を図る!!! ～学習評価の推進に向けて明日からできること～

《これまでの経過と今後のスケジュール》

- H27.3 学習指導要領等一部改正告示
(「特別の教科 道徳」の設置等)
- H27.7 学習指導要領解説書「特別の教科 道徳編」
(※学習評価通知を踏まえ再改訂予定)
- H28.7 道徳教育に係る評価等の在り方に関する
専門家会議報告(7.22)**
- **学習評価及び指導要録の改善等を通知(7.29)**
- H30.4 新小学校学習指導要領(道徳)全面实施
- H31.4 新中学校学習指導要領(道徳)全面实施

【参考】学習指導要領全体改訂のスケジュール

- H28年度内 中央教育審議会として答申
小中学校学習指導要領改訂告示
- ↓
- H32年度 小学校学習指導要領全面实施予定
- H33年度 中学校学習指導要領全面实施予定

道徳科の教科書に関するスケジュール

	H28	H29	H30	H31
検 定	小	中		
採 択		小	中	
使用開始			小	中

道徳科の学習評価に関する基本的な考え方が示されました!

★通知(7月29日付)から

～学習評価に関する基本的な考え方～

学習活動における児童生徒の「学習状況や道徳性に係る成長の様子」を、**観点別評価ではなく個人内評価**として丁寧に見取り、**記述で表現することが適切**である。

個人内評価・・・「子供のよい点を褒めたり、さらなる改善が望まれる点を指摘したりするなど、**子供の発達段階に応じ励ましていく評価**」

もっと
自分のことを
知りたいな。



みんなと一緒に
考えたいな。



子供が自らの成長を実感し、これから出会う多様な道徳的価値にどのように向き合い、よりよく生きるためにどうすればよいのか、自ら考え続けようとする力を道徳科の学習を通して育てることが求められています。



評価のための工夫(事例)

使用したワークシートを個別にファイルに綴ったり、子供に返却する前にコピーを取ったりして、記録を残しておく

- > 子供が自らの学びを振り返ることができる。
- > 教師がまとめた期間(学期、年間)の子供の変容を見取るための評価の手がかりとなる。



学習中の子供のエピソードの記録を残し、蓄積していく

- > 発表した内容だけでなく、友達の発表や教師の発問へのつぶやき・反応をメモしていく。
- * 学級の人数によっては、毎時間、全員の記録を残すことは難しいかもしれませんが、友達の考えに触発され新たな気付きや変容があった、といった印象的な場面を取り上げて記録する等、継続できるやり方を工夫しましょう。
- * 全ての子供の学習状況や成長を確実に見取り、よりよく生きるための確実な力を養うことが大切です。記録が特定の子供に偏っていないか、途中で振り返ってみましょう。

<留意点>

- ◆ 学習活動における児童生徒の具体的な取組状況を、**一定のまとまりの中で**、児童生徒が学習の見通しをもって振り返る場面を適切に設定しつつ見取る。
- ◆ 個々の内容項目ごとではなく、**大きくりなまとまりを踏まえた評価とする。**
- ◆ 特に、学習活動において児童生徒が**より多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか**といった点を重視する。等

発言や会話、作文・感想文やノートなどを通じて、「**自分と違う意見を理解しようとしている**」「**自分に置き換えて具体的に理解しようとしている**」等**といった点に着目して**子供の成長を見取ることが求められます。



ということは…「○○という考えを聞いて、自分は◇◇と思った」「自分だったら…」「自分も○○のように◇◇になりたい」といった子供の言葉を引き出すような授業づくりが大切なのですね。



最新の情報は、**随時、文部科学省ホームページで確認できます**

◆通知(7月29日付)

文科省 → 政策・審議会 → 告示・通達(か行) → 学習指導要領の一部改正に伴う小学校、中学校及び特別支援学校 小学部・中学部における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について(通知)

◆専門家会議報告 ※A4一枚の【概要】もあります。

文科省 → 政策・審議会 → 審議会情報 → 調査研究協力者会議等(初等中等教育) → 道徳教育に係る評価等の在り方に関する専門家会議 → 「特別の教科 道徳」の指導方法・評価等について(報告)